

23年センター試験確定志願者数は、 前年より5,615人(1.0%)増の55万8,983人！

現役生・既卒者とも増加で、3年連続増。現役志願率、過去最高の41.5%。

旺文社 教育情報センター 22年12月

大学入試センターはこの程、23年1月15・16日に実施される23年センター試験の確定志願者数を発表した。志願者数は55万8,983人で、22年より5,615人(1.0%)増え、3年連続の増加となった。現役生は3年連続、既卒者は2年連続の増加で、特に既卒者の3,558人、3.3%増の増加が目立つ。

都道府県別では、沖縄・高知・長野・広島・東京など26都道府県で増加、島根・奈良・大分・福島・静岡など20県で減少し、岩手は前年と同数であった。

現役志願率は22年より0.4ポイント上回る41.5%で、過去最高に達した。

●志願者数 558,983人(553,368人；5,615人増、1.0%増)

<内 訳>

○高校等卒業見込者(現役生) 442,420人(440,148人；2,272人増、0.5%増)

○高校等卒業生(既卒者) 110,211人(106,653人；3,558人増、3.3%増)

○「高認」合格者・その他 6,352人(6,567人；215人減、3.3%減)

○現役志願率 41.5%(41.1%；0.4ポイント上昇)

○男女別

① 男子 320,716人<57.4%>(318,259人<57.5%>)

② 女子 238,267人<42.6%>(235,109人<42.5%>)

○都道府県別(出身高校等別による)

① 志願者数が増加した主な都府県

沖縄(7.2%増)／高知(5.6%増)／長野(3.8%増)／広島(3.6%増)／東京(3.2%増)／熊本(2.9%増)／福岡(2.9%増)／大阪(2.6%増)／徳島(2.5%増)等、26都道府県

② 志願者数が減少した主な県

島根(5.2%減)／奈良(4.0%減)／大分(3.6%減)／福島(2.8%減)／静岡(2.8%減)／山形(2.8%減)／佐賀(2.0%減)／茨城(1.9%減)／香川(1.7%減)／宮城(1.6%減)等、20県

③ 現役志願率の高い主な都府県

富山(52.5%)／広島(51.5%)／愛知(51.0%)／東京(50.9%)／山梨(48.2%)／石川(47.8%)／島根(46.1%)／徳島(46.1%)／福岡(45.9%)／福井(44.9%)、等

○成績開示希望別

① 開示希望者 417,785人<74.7%>／② 開示を希望しない者 141,198人<25.3%>

注1. 都道府県別を除く()内は、22年データ及び22年対比の増減、等。

注2. < >内は構成比率。

注3. 「高認」は高等学校卒業程度認定試験の略。

【特記】

① 志願者数

22年の18歳人口は9年ぶり、高卒者数は18年ぶりに増加したが、23年はともに再び減少に転じ、高卒者数は22年より約8,000人、0.7%減の106万3,000人が予測される(旺文社推定、通信制課程は含まず)。

その一方で、大学・短大への現役志願率は22年より1ポイント近く上回る62%以上となることが見込まれる(旺文社推定)。

そうした中、センター試験志願者数は、大学・短大への現役志願率アップを裏付ける前年比1.0%増の55万8,983人となった。

② 志願者が増加した主な要因

- 上述のように、来春の高卒者数は22年より減少が見込まれているものの、現役生の大学志願率が近年上昇傾向にあり(19年51.8%→20年53.5%→21年54.9%→22年55.7%)、センター試験出願の現役志願率を高め(23年は過去最高の41.5%)、結果として現役の増加につながっている。
- 減少の一途をたどっていた既卒者が22年から微増に転じ、23年は現役生を増加人数、増加率とも大幅に凌ぐ増加となった。
- 新見公立大、福山市立大など、公立4大学のセンター試験を利用する分離分割方式への参入、私立大のセンター試験参加増(9大学37学部増の503大学1,441学部。22年3月末現在)と短大の参加増(6短大増の166短大。同)。
- 推薦・AO入試などで年内に大学進学を決めてしまう“早期受験組”に対し、学習意欲や学力の維持・向上策の一環として、高校側におけるセンター試験の活用。

③ 現役生、既卒者の志願者数

- 現役生は20年に減少したが、21～23年と3年連続の増加。現役生の志願者数は、来春の高卒者数の減少(予測)にもかかわらず、過去最高の現役志願率41.5%に支えられ、22年より2,272人(0.5%増)の44万2,420人だった。
- 一方、既卒者は16年以降、21年まで6年連続減少していたが、22年は7年ぶりに微増(21年より520人、0.5%増)に転じ、23年は22年より3,558人(3.3%)の大幅増で、2年連続の増加である。

既卒者の大幅増は、厳しい経済状況であるが、就職情勢の悪化なども踏まえ、国公立大志向、就職に有利な有力(難関)大学・学部志向、資格志向などの一層の高まりと、前年のセンター試験難化(平均点大幅ダウン)などで不本意入学した、所謂“仮面(合格)浪人”等、“初志貫徹組”なども含めた既卒者の増加によるとみられる。

④ 高校の学科別でみた出願状況

志願者のほとんどを占める普通科(志願者数51万22人、構成比率92.3%)で志願者増のほか、総合学科(同1.9%)、商業科(同0.5%)、工業科(同0.4%)でも微増しており、高校教育の多様化による志願者層の広がりが伺える。

⑤ 都道府県別でみた主な出願状況

* 志願者数：東京が6万5,265人で突出しており、これに愛知(3万6,325人)、神奈川(3万2,571人)、大阪(3万187人)、埼玉(2万9,169人)、兵庫(2万4,614人)、福岡(2万4,140人)、千葉(2万3,826人)と、22年とほぼ同じ顔ぶれが続く。

志願者数の増加は全国47都道府県のうち、沖縄・高知・長野・広島・東京・熊本・福岡・大阪・徳島など、26都道府県。

一方、島根・奈良・大分・福島・静岡・山形・佐賀・茨城・香川・宮城など、20県で減少した。

なお、岩手の志願者数は、22年と同数であった。

* 現役志願率：富山が52.5%で、8年連続の首位をキープ。これに広島(51.5%)、愛知(51.0%)、東京(50.9%)、山梨(48.2%)、石川(47.8%)、徳島(46.1%)、島根(46.1%)、福岡(45.9%)と、45%以上の高率が続いている。

⑥ 試験成績の本人開示

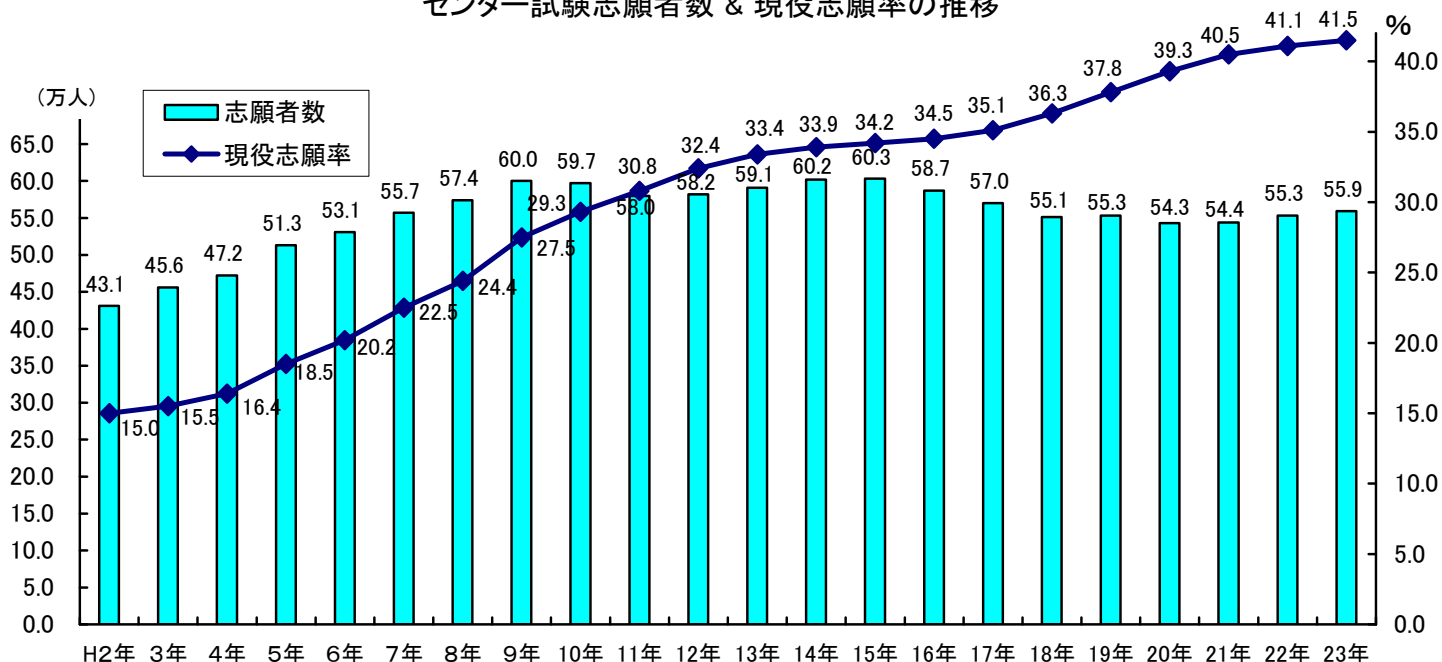
14年より実施されている試験成績の本人開示(事後開示)については、開示希望者数が6,754人(1.6%)増え、41万7,785人(志願者の74.7%)となった。

⑦ 「追試験」の実施

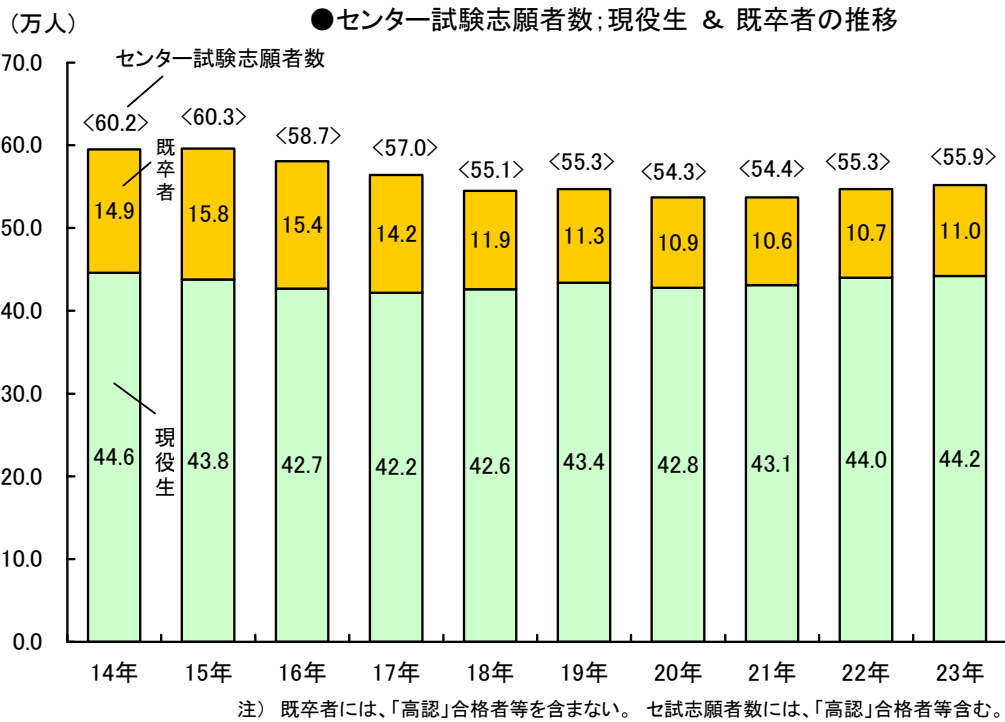
「本試験」の1週間後、1月22日・23日に東日本地区(東京海洋大)と西日本地区(京大)の2会場で実施される。

(図1)

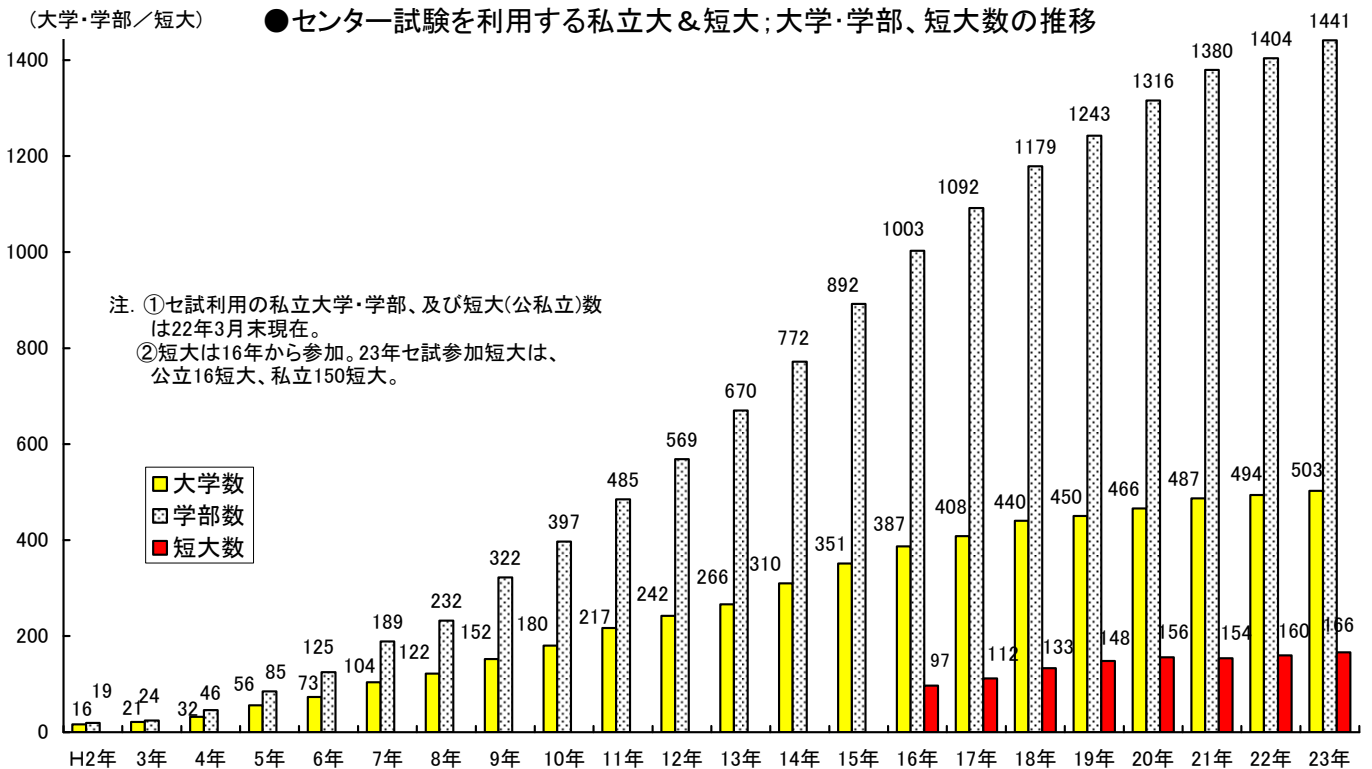
センター試験志願者数 & 現役志願率の推移



(図 2)



(図 3)



(表1)

●都道府県別 センター試験現役志願率 推移

	23年	22年	21年	20年	19年	18年	17年	2年
1 北海道	32.9%	32.1%	31.3%	29.6%	27.6%	26.4%	25.5%	13.4%
2 青森	33.0%	32.8%	32.1%	31.9%	30.5%	28.9%	27.5%	14.5%
3 岩手	40.5%	39.3%	39.7%	37.3%	36.9%	36.2%	33.0%	15.8%
4 宮城	33.9%	33.7%	32.6%	31.0%	29.7%	28.8%	27.7%	11.7%
5 秋田	39.9%	39.4%	37.5%	35.8%	34.2%	32.8%	29.7%	13.9%
6 山形	38.4%	38.7%	38.3%	36.9%	35.5%	34.2%	31.6%	16.5%
7 福島	32.2%	32.2%	32.0%	29.7%	28.6%	27.0%	27.2%	12.7%
8 茨城	41.9%	43.2%	42.7%	40.1%	37.6%	35.9%	35.2%	11.9%
9 栃木	44.7%	44.1%	42.6%	41.4%	39.6%	37.0%	35.9%	13.1%
10 群馬	44.7%	44.4%	44.5%	43.6%	41.7%	39.3%	38.0%	13.9%
11 埼玉	42.6%	42.2%	41.2%	39.9%	38.5%	37.1%	34.3%	9.4%
12 千葉	39.3%	39.7%	39.0%	37.9%	36.0%	34.2%	34.4%	9.7%
13 東京	50.9%	48.8%	48.3%	46.9%	44.1%	42.6%	40.6%	11.8%
14 神奈川	41.2%	41.2%	40.2%	39.5%	37.7%	35.9%	34.8%	10.4%
15 新潟	42.7%	41.4%	42.2%	39.2%	38.9%	35.5%	33.3%	12.5%
16 富山	52.5%	50.8%	50.8%	50.3%	49.5%	47.4%	46.0%	27.7%
17 石川	47.8%	48.5%	47.5%	46.1%	45.0%	43.6%	41.0%	19.6%
18 福井	44.9%	45.4%	43.2%	44.7%	43.4%	42.1%	39.7%	22.7%
19 山梨	48.2%	48.2%	48.6%	45.6%	44.1%	42.4%	40.8%	13.8%
20 長野	43.9%	42.9%	42.1%	41.0%	39.0%	37.4%	34.0%	12.8%
21 岐阜	41.1%	40.7%	39.5%	40.1%	37.8%	35.8%	35.4%	18.3%
22 静岡	43.9%	43.8%	42.4%	41.4%	41.0%	39.2%	37.8%	13.8%
23 愛知	51.0%	50.5%	49.8%	48.6%	47.5%	45.8%	45.1%	21.2%
24 三重	40.8%	40.6%	39.1%	38.0%	37.7%	37.0%	36.4%	14.6%
25 滋賀	39.6%	40.4%	41.0%	39.8%	39.2%	38.1%	36.2%	12.8%
26 京都	36.1%	36.7%	36.4%	35.5%	35.3%	33.8%	32.5%	12.8%
27 大阪	31.8%	31.5%	31.8%	31.2%	30.5%	29.5%	28.4%	11.9%
28 兵庫	43.4%	43.0%	42.8%	42.0%	40.5%	39.4%	37.9%	16.4%
29 奈良	42.1%	43.9%	43.8%	42.0%	41.0%	39.9%	38.8%	15.5%
30 和歌山	34.2%	33.8%	34.1%	33.4%	32.6%	33.3%	30.6%	11.8%
31 鳥取	44.0%	42.9%	40.8%	39.3%	38.5%	36.0%	34.6%	21.2%
32 島根	46.1%	47.7%	44.7%	44.0%	43.3%	43.2%	42.6%	22.9%
33 岡山	40.7%	40.4%	39.8%	39.5%	38.6%	38.0%	37.5%	25.7%
34 広島	51.5%	50.4%	49.9%	49.3%	47.9%	45.0%	44.8%	17.6%
35 山口	37.2%	37.3%	35.8%	34.7%	34.5%	33.6%	31.8%	19.1%
36 徳島	46.1%	44.9%	44.3%	42.5%	40.2%	38.2%	36.9%	22.1%
37 香川	40.6%	41.7%	40.8%	40.8%	39.3%	38.5%	37.0%	20.9%
38 愛媛	42.8%	43.5%	43.0%	40.7%	40.7%	40.2%	39.9%	22.5%
39 高知	37.8%	35.7%	33.4%	34.4%	32.8%	32.1%	31.2%	14.4%
40 福岡	45.9%	44.3%	43.5%	41.6%	39.6%	37.8%	37.0%	19.3%
41 佐賀	40.0%	41.1%	41.2%	39.7%	38.8%	37.5%	37.0%	18.7%
42 長崎	37.9%	38.1%	36.5%	35.1%	34.0%	33.4%	32.5%	24.3%
43 熊本	35.6%	35.5%	34.0%	33.6%	31.4%	29.6%	28.4%	17.0%
44 大分	33.4%	34.5%	34.8%	33.0%	31.3%	29.8%	30.2%	22.6%
45 宮崎	37.5%	39.0%	38.8%	37.6%	36.4%	37.1%	35.5%	25.7%
46 鹿児島	37.1%	36.7%	35.9%	35.7%	33.8%	32.6%	31.6%	22.3%
47 沖縄	25.9%	25.0%	24.1%	24.5%	23.2%	22.5%	21.9%	14.9%
全国	41.5%	41.1%	40.5%	39.3%	37.8%	36.3%	35.1%	15.0%

※ 大学入試センター発表資料・文部科学省『学校基本調査』(22・23年＝速報値／それ以外＝確定値)より算出。

※ 現役志願率＝高等学校等新規卒業者における、セ試志願者の割合。

※ 23年は卒業見込者(高等学校全日制3年・定時制4年・中等教育学校後期課程3年の在学者数計)。